

令和6年9月24日

教育長 答 弁 実 録

（教育委員会）

（問）工業高校の活性化について

これまでも県として様々な県立工業高校の活性化に向けた施策を展開してきたと思うが、産業界のニーズ等も踏まえた、今後の工業高校の活性化に対する県の方針について、教育長の所見を伺う。

（答）

工業高校は、本県のものづくりを支える多くの人材を輩出してきたところでございますが、近年、AIやIoT、5G等の技術革新が急速に進む中で、新たな技術に対応した実践力を育成するとともに、地域産業の持続的な成長・発展を担う人材を育成することが求められております。

このため、教育委員会におきましては、広島県地方産業教育審議会の答申に基づき、

- ・ 企業で導入されている最先端のデジタル機器を活用した実習の実施、
- ・ 学校と産業界をつなぐ産業教育コーディネーターの学校配置、
- ・ 大学や企業等との連携の上で、実社会での課題解決を図る探究的なカリキュラムの実施

など、活性化を図るための取組を進めているところでございます。

また、工業高校での学びを深めるために大学へ進学するといった、多様化する進路希望を叶えるため、選択科目として普通科目を提供するなど、生徒のキャリア形成に丁寧に関わり添った教育活動を展開しております。

さらに、工業高校ならではの学びや、大学等も含めた多様な進路実績といった工業高校の魅力を、中学校の生徒や保護者などに効果的に伝えるため、工業高校の生徒が協働してウェブサイトを作成し、生徒ならではの目線で発信するなどの取組も行っております。

教育委員会といたしましては、引き続き、地域の産業界や大学等と連携しながら教育活動の充実を図るとともに、工業高校の積極的な魅力発信に努めることにより、工業高校を始めとする産業教育全体の活性化に全力で取り組んでまいります。